

本校の概要

今回の調査における成果と課題

改善の方向

【知識及び技能】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ◇全国平均を下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

- ◇全国平均を上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

- ◇全国平均を上回っている。

【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」

- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「書くこと」

- ◇全国平均を上回っている。

「読むこと」

- ◇全国平均を上回っている。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

「情報の扱い方に関する事項」

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。

「我が国の言語文化に関する事項」

- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。

「話すこと・聞くこと」

- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることに課題がある。

「書くこと」

- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

「読むこと」

- 目的に応じて、文章を結び付けて、必要な情報を見付けることができる。

- ・日常的に漢字を用いて文章を書くようにしたり、分からない漢字はすぐに調べたりする機会を充実させる。

- ・目的をもって質問をし、必要な情報を聞き出す活動を、国語以外の教科でも取り入れていく。

- ・複数の資料を結び付けたり、文章と図表などを結び付けたりしながら必要な情報を読む活動を充実させる。

【算 数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本 校 の 概 要

【領域】

「数と計算」

- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「図形」

- ◇全国平均を上回っている。

「測定」

- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「変化と関係」

- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「データの活用」

- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における成果と課題

「数と計算」

- 分母が異なる分数の計算に課題がある。

「図形」

- 台形の意味や性質について理解している。
- 基本図形に分けられる図形の面積の求め方を、式や言葉で説明できている。

「測定」

- はかりの目盛りを読むことができている。

「変化と関係」

- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて説明することに課題がある。
- 「10%増量」の意味を理解している。

「データの活用」

- 目的に応じて適切なグラフを選択し、その理由を説明することに課題がある。
- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができている。

改 善 の 方 向

- ・異分母の分数の加法や減法の計算が確実にできるように図などを用いて通分の意味について考えさせる活動を充実させる。

- ・ある一つの数量を直接調べにくい場合に、その数量と関係のある他の数量を使って調べられないかと考え、伴って変わる二つの数量に着目させる活動を充実させていく。

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して、データの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現する活動を取り入れていく。

【理 科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本 校 の 概 要

【領域】

「エネルギー」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「粒子」

◇全国平均を上回っている。

「生命」

◇全国平均を上回っている。

「地球」

◇全国平均を上回っている。

今回の調査における成果と課題

「エネルギー」

●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの理解に課題がある。

○電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想することができている。

「粒子」

○オホーツク海の氷と気温の変動との関係を、理科で学習したことを基に考えることができている。

「生命」

○レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができている。

「地球」

○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができている。

改 善 の 方 向

- ・電磁石の強さを変える実験などの結果を図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係付けて理解を深める機会を取り入れていく。
- ・電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることが調べる際に、「巻数を増やす」などの条件を表す言葉や、「電磁石が強くなる」などの現象を表す言葉を使い分けて説明する学習活動を充実させる。

〔○：全国の割合と比べてよいところ ●：全国の割合と比べて課題があるところ〕

学習状況調査結果

学校や家庭での「学習」や「生活」の様子について

生活面の質問事項から

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う子の割合が高い。
- 困りごとや不安があるときに先生や大人に相談できる子の割合が高い。
- 人が困っているときは、進んで助けようと思う子の割合が低い。
- 毎日、同じ時刻に起きている子の割合が低い。

学習面の質問事項から

- 国語や算数、理科の学習が、将来、社会に出たときに役に立つと思っている子の割合が高い。
- タブレットで文章を作成したり発表のスライドを作ったりすることができる子の割合が高い。
- 学校の授業時間以外に、読書を全くしない子の割合が高い。
- 学校の授業時間以外に、土日などの学校が休みの日を含めて、勉強する時間が1時間以下の子の割合が高い。

〔○：全国の割合や昨年度と比べてよいところ ●：全国の割合や昨年度と比べて課題があるところ〕

本調査は、子どもの学習状況及び、それに関わる生活状況についてのアンケート結果を表したものです。全国の割合や本校の昨年度までの割合と比べて、本校児童の実態を表している特徴的な結果のみを掲載しています。

生活面では、地域や社会をよくしたいと思う子の割合が高く、縦割り活動の「太陽っ子活動」などを通じて、異学年の関わりのよさを実感したり、今年度の重点である「できた！」という成功体験の積み上げを大切に取り組むことで子どもの興味関心や意欲が高まったりしたことが考えられます。他には、困りや不安があるときに先生や大人に相談できる子の割合が高く、先生などとの信頼関係を構築できていたり、学校で困ったときに相談する大切さを伝えたりしている成果だと考えられます。一方で、困っている人に進んで助けようと思う子の割合が低いので、道徳などを中心に思いやりや助け合いの心をはぐくみ、皆が快適に過ごせる素晴らしさを実感させていきたいと思います。また、「毎日同じ時刻に起きる子」の割合が低く、望ましい生活習慣の確立に課題が見られるので、子どもの心身の健康のためにも、ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」といった生活習慣作りへの協力をお願いいたします。

学習面では、クロームブックを使った入力や発表スライドの作成ができる子の割合が高く、日常的に使ってきた成果が出ています。また、国語・算数・理科の学習が将来役に立つと思っている子の割合が高く、学習の意義を感じている一方、学校以外では1時間以下しか勉強しない子の割合が高く、自分から学習に取り組めていない傾向にあります。学校でも家庭学習(チャレンジスタディ)を推進し、他の人の取組を紹介するなどしていますが、ご家庭でも学習への声掛けや励ましをお願いいたします。

今後も本調査の把握・分析を図り、学力向上に対するよりよい取組や学習状況の継続・改善につなげていきます。